

山野地域づくり協議会

広報 やまの



No.128
2021.3.25

山野地域づくり協議会
〒982-0204 南砺市飛騨屋20
TEL. 0763-82-4510



ご成人をお祝いして

南砺市市議会議員 川原 忠史

ご成人、おめでとうございます。ここまで育てられましたご両親をはじめ、ご家族の皆様には、喜びもひとしおのこととお慶び申し上げます。

本来ならば、1月に成人式の予定でありましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため（近年にない大雪も重なりました）、3月に延期となりました。県外の成人者の参加が未だ難しく、少しさみしいものになりましたが、思い出多いものになったのではと思います。

さて、どの地方都市も同じですが、人口減少、そのことに伴う少子化が大きな課題となっています。この課題解消に向け、いろいろと取り組みが実施されていますが、これといった打開策が見いだせていません。

皆様の斬新な考え、若い力、行動力を、市・井波地域・山野地区の発展のために、お力をお貸しください。お願いします。

結びに、成人者の皆様には健康に留意され、夢の実現に向け邁進されますようお祈り申し上げます。

新成人となって



田中 真登

令和3年に20歳を迎え成人となりました。

今思うと、20年という歳月はあっという間だったように感じます。そんな私も、現在は大学に通い、富山を離れ一人暮らしをしています。年を重ねるにつれ様々な気づきに出会えました。

その中でも、家族や知人、地域の方々に支えられているという気付きは、人生の経験が少ない私にとってはとても大きなものでした。

人生は自分と他者が思いやり、層をなすことで作り上げられるのだと思います。様々な人たちに支えられてきたおかげで、無事20歳を迎えることができ感謝の念に堪えません。

昨今、コロナ禍の影響で様々な体制や仕組み、価値観が変わっていき大きな変化をもたらしました。私の通っている大学でも、それに応じた勉強がありどのように社会に適応していくかが重要となりました。

最後に、支えてくれた人たちに感謝の念と敬意を忘れず、学びの場で培った技術や知識を社会や地域に貢献できるよう頑張っていきたいと思えます。

社会人になって



山本 翔平

僕は、高校卒業後に就職しました。そろそろ3年目になり1年目の頃と比べると、知識やスキルが増えてきてはいますが、まだまだ分からないことや出来ない事も多く、これからも

いろいろな事に興味を持ち取り組んで、少しずつ自分の能力を高くしていきたいと思っています。最近では、パソコンに興味があり、仕事でも使う機会が多いのでExcelとか勉強したりしています。

社会人になって覚えなければいけないことが増えたり、責任も大きくなるので大変そうなイメージが強かったですが、周りの人とうまく関わられているし、思っていたよりも楽しく今までやれてきているので、これからも自分なりに楽しんで社会生活を、送っていきたくと思っています。



挑 戦



高 熊 珠 玖

た。お金が無くて学校に行けない子供達が親の代わりにお金を稼いでいたり、ゴミになったトタンや木の板を組み合わせて、家を作り暮らしているのが現状でした。

一番印象に残ったことは、日本より貧しい生活をしているはずのセブ島の人々が、どんな時もニコニコ笑って生活していたことです。理由は毎日生きることに必死で、悔いの残らないように楽しんで生活しているからです。その表情は、お金を持っている日本人よりも輝いて見えました。

私自身、留学を通して様々なことを学び大きく成長できた実感しています。どんな小さな経験でも、必ず成長に繋がるので、失敗を恐れずどんどんチャレンジして欲しいです。



夢に向かって



笠 間 桃 子

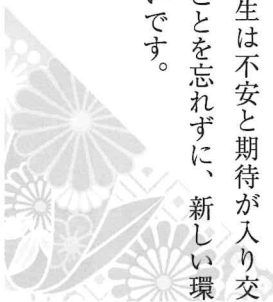
私は春から上京し、美容師になります。幼い頃から変わらずに見

続けた夢でした。美容師をしている祖母や叔母の姿を見て私も自分の手で人を綺麗にしたいと思ったのがきっかけでした。

美容師について知るうちに、上京して洗練された技術を身につけたいと思うようになり、憧れのサロンに入るためにひたむきに努力しました。学校の授業はもちろん、色んな作品を見たり作品作りなども積極的に行ったりしました。その結果、第一志望であった東京のサロンに内定を頂くことができました。

今までの学生生活で学んだことは、諦めずに努力し続ければいつか報われるということです。途中で何度もつまずいたり上手くいかなかったりすることがありましたが、一度立ち止まって、どのように行動したら結果に繋がるかを考えることで諦めずに頑張ることが出来ました。

これから先の美容師人生は不安と期待が入り交じっていますが、学んだことを忘れずに、新しい環境でまた一から頑張りたいです。



将来の夢それを叶えるために



大 矢 隼 登

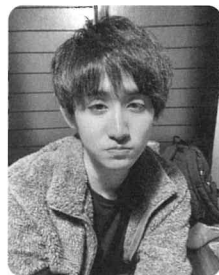
私は将来、災害用ロボット（レスキューロボット）

の開発、設計に携わりたい。それは、災害時に人が建物の中に取り残される、瓦礫の下に閉じ込められるなど、二次災害から被害をなくしたいからである。人を見つけその位置を特定するには、高感度カメラで周囲を映し出すと同時に、本体にGPSを装備し位置情報を送れるようにロボットを開発しなければならない。

そこで必要となるのがプログラミング能力や、ロボットの感覚を司る「センサー」、ロボットの行動を司る「知能、制御」、実際の運動を司る「駆動」のロボットを完成させるために必要な知識である。

だから学生である今、プログラミング能力は勿論、ロボット工学の基礎知識を積んでおき、授業だけでなく参考書を読むなどして知識を身に着けたい。そして、日頃から社会の動向に注目し、今後必要となる知識や技術を常に確認し、磨いていこうと思う。

二十歳になって思うこと



大 浦 一 貴

成人した姿は全く想像出来ないなと思った事を覚えていきます。

実際に成人してみると、身長は伸びましたが、内面的にはそれほど変化があったとは感じられませんでした。

ですので、十年先、二十年先の自分の未来もなかなか予想出来ません。特に、新型コロナウイルスの影響でここ一年の生活は、一変しました。

行動は制限され、マスク、手洗い、消毒は習慣になりました。また、非接触を図るために、オンライン授業、テレワーク、キャッシュレス決済など、急速に普及したのではないかと思います。

新型コロナウイルスの終息は、未だ見えてきませんが、日常が非日常化するという体験はいつか必ず、役に立つと感じています。

これからは、新成人として自分の未来を模索しながら、いろんな事にチャレンジして努力していきたいと思えます。

最後になりましたが、これまで私を支えてくれた友達、恩師、家族、そして地域の方々に深く感謝したいと思います。

大人とは



齊 藤 祐 吏

自分がまだ小学生だった時、自分が大人になることが想像できませんでした。

大人になるとは一体どういう事なのか、それは今でもわかっていません。しかし、自分が年を重ねる度に自分がどんな大人になりたいのか考えるようになりました。

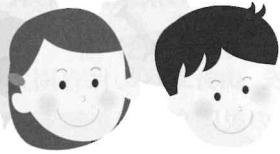
大人というものは勉強ができればならないと考えていました。自分は勉強があまり得意ではなく、それは今でも変わらず勉強が苦手です。自分が小さかった頃は、勉強ができなければ大人になるとできないと考えていました。しかし、今では、勉強ができることは確かに大切ですが、それ以外にも大人になるには自分自身が成長することが一番大切なのではないかと考えています。

どんな場面でも、落ち着き行動し、周りをよく見ていることだけではなく、他人のことも気に掛けることができる大人になりたいです。



だれでも・なんでもサロン &

わいわい健康スポーツデー



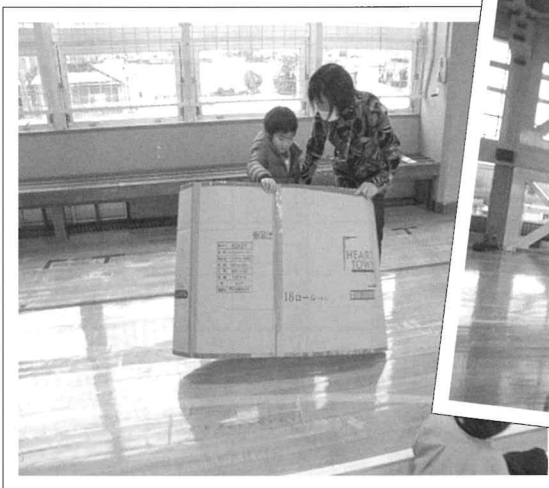
だれでも・なんでもサロン

毎週火曜日、山野交流センターでは「だれでも・なんでもサロン」を開催しています。タイトル通りいろいろ楽しめるゲームや簡単な工作材料、井波図書館からの借り出し図書などが揃っており、思い思いに楽しめます。

4時ごろからは、保育園帰りの園児たちも合流し5時ごろまでですっています。

また、アイウエーブから講師の方をお呼びし、世代に合った軽運動やゲームを教えていただいています。

また、春休みには小学生も交えた、楽しい企画を準備しています。



わいわい健康スポーツデー

毎月第2、第4土曜日の午後2時から自分に合った運動や球技などを、自分のペースで行えるようスポーツ室を解放しています。地区のスポーツ推進員の発案で地域づくり協議会の行事として保険も適用し「密」に気をつけながら行っています。

まだまだ十分なスペースがあるので、皆様の参加をお待ちしています。

山野保育園再編統合問題

皆さんも新聞報道等でご存知の通り、現在南砺市では公共施設の見直し、総床面積の削減が行われております。そして保育施設や教育施設もこれからの人口減少を見据えて再編が検討されております。

今回、山野保育園が再編統合の対象となり、1月17日に山野交流センターで、山野地区の保育園父母の会役員や児童クラブ育成会代表、地域づくり協議会役員に対して保育園審議会の答申案の説明会が開かれました。

答申案は令和7年度までに山野保育園を井波にじいろ保育園に統合するものでした。参加者からは「山野保育園は小規模だから手厚く見てもらえるので、あえて通園させている」「保育園の本来の意義に沿った保育行政であるべきだ」など、統合を望まない発言が多く出されました。

後日、説明会で出た意見を纏め審議会委員に託し、1月26日に開催された保育園審議会で配布してもらいました。審議会では他の委員からも保育園の再編に対し反対意見が出され、答申案は採択されず再度検討し直すことになりました。

先の説明会は新型コロナウイルス感染対策のため人数を絞って行われたため、当協議会では保育園へ通園させている保護者や通園させていた小学校低学年の保護者の皆様の考えを大切にしたいとの思いから、にじいろ保育園等の方も含めて山野地区の該当者全員の皆様にアンケートを実施しました。その結果が以下の表です。

「山野保育園存続、廃止に関するアンケート」結果報告

Q 山野保育園のにじいろ保育園への統合案について

	山野保育園	にじいろ保育園	その他	計	
賛成	2	7		9	16%
反対	13	2		15	27%
反対だが決定に従う	19	1	1	21	37%
どちらでも良い	5	3	1	9	16%
その他		1	1	2	4%
合計	39	14	3	56	

アンケートは山野地内在住の0歳児から9歳児までのお子さんをお持ちの家庭に配布し、56戸（113人分）からお答えをいただきました。

尚、地区外から山野保育園を利用されている、または利用していた方の意見は反映されていません。

統合に対しては64%が反対、16%が賛成、どちらでも16%という結果でした。

賛成、反対の立場から「良いところ」「悪いところ」を自由意見として書いてもらったところ、良いところでは「少人数なので、保育士さんから丁寧に手厚く見てもらえた」悪いところでは「小学校へ上がった時、にじいろ保育園の子たちと一緒にになるので馴染めるか心配だった」との意見もありました。

また、良いところには「山野独自のイベントがある」「近いので交流センターでのイベントに参加できる」との声もいただき、大変勇気づけられました。

このアンケート結果とともに当協議会が、子供たちが郷土愛を育みこの地へ戻ってきけるよう日々努力していることを、山野地区の声として次回の保育園審議会へ届けたいと思います。

令和3年度役員紹介

一年間よろしくお願いいたします

山野町内会長協議会

副会長	専勝寺	高屋	清水明	安室	井波軸屋	野能原	飛驒屋	岩屋	山斐	坪野西部	坪野中部	坪野東部	監事	会計	副会長	田中豊
会長	川原忠史	高田毅	磯辺和夫	武田信夫	細川忠克	藪長正昭	高山光夫	片田昌宏	木下晴雄	板橋一徳	田中豊明	石黒義尚	大久保幹夫	川原忠史	細川忠克	藪長正昭

山野壮年会

高山一登
岩崎修

副会長	高畑清春	高田晃	大浦靖之	大浦靖之	村岡裕一	嶋喜彦	藤原孝志	水野敬一	山崎健一	岩崎修	高山一登	林博晃	細川謙一	谷畑清春
-----	------	-----	------	------	------	-----	------	------	------	-----	------	-----	------	------

山野老人クラブ長寿会

副会長	松川久	河原光	波能茂光	菊野一裕	川合慶夫	樋爪栄子	高田喜義	荒木佳子	河原光	高畑清春	高田晃	大浦靖之	大浦靖之	村岡裕一	嶋喜彦	藤原孝志	水野敬一	山崎健一	岩崎修	高山一登	林博晃	細川謙一	谷畑清春
-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	-----	------	-----	------	------	------	-----	------	------	------	-----	------	-----	------	------

高齡者学級会計	岩崎春子	吉田平進	荒木佳子	長谷寛子	荒木佳子	高田喜義	原田美知子	川合慶夫	川合慶夫	樋爪栄子	吉田平進	嶋晴美	嶋三智子	波能茂光	菊野一裕	原田美知子	嶋晴美
---------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	-----	------	------	------	-------	-----

山野児童クラブ育成会

副会長	古田亨	榎木勝規	金田奈津恵
-----	-----	------	-------

母親クラブ

会長	金田奈津恵
----	-------

児童クラブ育成連合会

副会長	榎木勝規	金田奈津恵	中山貞之	中山妙子	磯辺紀之	古田利枝	澤田直樹	守山佳久	守山佳久	野村昌浩	板橋昌宏	清原匡志	宮林隆弘	斉藤朋史	往藏龍太郎	永井龍大	長谷川雅弘
-----	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	-------

山野青年会



第45回 防火ポスターコンクール表彰者



主催 南砺市井波方面団山野分団



- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>金賞</p> <p>磯辺知花(小2)</p> <p>竹原美遙(小5)</p> <p>松田侑佳(中1)</p> | <p>銀賞</p> <p>澤山叶芽(小1)</p> <p>中山彩実(小3)</p> <p>小嶋康生(小4)</p> <p>岡 虹芹(小6)</p> <p>金田奈樹(中2)</p> | <p>銅賞</p> <p>大谷馨子(小2)</p> <p>越山 梁(小2)</p> <p>波能麻里菜(小3)</p> <p>荒木理央(小4)</p> <p>中山皓斗(小5)</p> <p>金田龍樹(小5)</p> <p>大谷日葉里(中1)</p> <p>嶋 涼介(中2)</p> | <p>努力賞(保育園)</p> <p>金戸叶珠羽</p> <p>板橋幸平</p> <p>吉川実花</p> <p>畑 遥碧</p> <p>岡野琴未</p> <p>金戸麻紘</p> <p>岡野昴士</p> <p>野原紗花</p> <p>上田美悠香</p> |
|--|--|--|--|

編集後記

ようやく、交流センター前の雪の山も消え、チューリップの若葉も伸び始めました。今年は成人式が3月になり山野地区でも16名が新成人となりました。今号では、成人になっての思いを寄せていただき、清新な気に溢れた特集になったかと思えます。

若い人たちの将来を見据える曇りのない目に心洗われる気がします。いつの日か、山野の地域づくりに携わっていただけることを、願うばかりです。

また、防火ポスターの力作も揃いセンター玄関に掲示してありますので、交流センターでの活動の折に御覧ください。

この1年、山野地域づくり協議会の活動に参加いただきありがとうございます。